

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪 ECO 動物海洋専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養課程	ペットビジネス科（昼間Ⅰ部）	夜・通信	915 時間	160 時間	
	動物&海洋科（昼間Ⅰ部）	夜・通信	2250 時間	160 時間	
	動物医療科（昼間Ⅰ部）	夜・通信	450 時間	160 時間	
	動物高度医療科（昼間Ⅰ部）	夜・通信	1680 時間	240 時間	
	ペットビジネス科（昼間Ⅱ部）	夜・通信	915 時間	160 時間	
	動物&海洋科（昼間Ⅱ部）	夜・通信	2250 時間	160 時間	
	エコ・テクノロジー科（昼間Ⅱ部）	夜・通信	780 時間	320 時間	
（備考）動物医療科は2022年4月より募集停止。2022年4月よりエコ・テクノロジー科を新設。動物医療科は2年のみ在籍し、エコ・テクノロジー科は1年のみ在籍。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/02/02-05.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪 ECO 動物海洋専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/03/03-02.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	団体役員 (H28. 4. 1～)	R3. 6. 1 ～ R6. 5. 31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	会社役員 (H24. 4. 17～)	R3. 6. 1 ～ R6. 5. 31	経営分析
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪 ECO 動物海洋専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の 4 月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表している	
授業計画書の公表方法	各学科別にホームページで公開 動物医療科 https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/02/2_syllabus_animal_iryuu.pdf ペットビジネス科 https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/02/2_syllabus_petbusiness.pdf 動物&海洋科 https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/02/2_syllabus_animal_ocean.pdf 動物高度医療科 https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/02/2_syllabus_animal_advanced_medicine.pdf エコ・テクノロジー科 https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/02/2_syllabus_eco_technology.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。

点数 80点以上をA、79点～70点をB、69点～60点をC評価とし、59点以下はD評価（不合格）とする。

出席評価、授業態度評価(座学・実技での取り組み態度)、筆記試験、実技試験、レポートをシラバスに定める評価方法にて評価する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPA 制度導入

GPA評価対象となる科目は、基本的には通常授業科目で、かつ試験等で点数評価される科目である。対象とならない科目は、特別教育分野の科目で、点数評価ではなく認定のみされる科目とする。

GPA成績評価基準は以下の表のとおり、規定の出席率を満たし、S～C評価の場合は認定され、F評価は認定されない。

GPA 成績評価基準

GPA 成績評価基準

出席率	評価点数	評価グレード	合否
66.7%以上	100～90点	S (4.0)	合格
	89～80点	A (3.0)	
	79～70点	B (2.0)	
	69～60点	C (1.0)	
	59～0点	F (0.0)	不合格

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業・進級の判定基準は以下のとおりとする。

1. 各年次 900 時間以上を修得した者は、進級することができる。
2. 各年次 900 時間以上を修得し、最高学年において卒業認定された者は卒業することができる。
3. 上記1及び2に該当する者は、学校長及び学校長が指名した者より構成される卒業進級判定会議を開催し、審査の上判定する。

上記の基準を満たさない者は、原級留め置き（留年）または卒業保留となる。また、卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は卒業認定されない。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/02/02-06.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。 卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。 1. 各年次 900 時間以上を修得した者は、進級することができる 2. 各年次 900 時間以上を修得し、最高学年において卒業認定された者は卒業することができる。 3. 上記 1 及び 2 に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。 上記を満たさない者は、原級留め置き（留年）または卒業保留となる。卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は卒業認定されない。 ・卒業年度の 3 月 31 日を超え、卒業単位未修得による卒業保留の場合、同年 4 月 1 日からの次年度において、8 月 31 日までに卒業認定されない場合は、入学年の 3 月 31 日付で除籍となる。 なお、同年 4 月 1 日以降は規定の在学期間を超えるため、学生としての身分はなく、よって学生証は発行されない。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/02/02-03.pdf

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	大阪 ECO 動物海洋専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/08/08-01.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/08/08-01.pdf
財産目録	https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/08/08-01.pdf
事業報告書	https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/08/08-01.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/08/08-01.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	ペットビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼 間 Ⅰ 部	1800 時間／単位	単位時間 90 時間	単位時間 1710 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		198 人	2 人	4 人	6 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の 4 月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点：S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点：A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点：B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点：C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
95 人 (100%)	0 人 (%)	77 人 (81.1%)	18 人 (18.9%)
（主な就職、業界等） ペットサロン、ドッグスクール、ペットショップ、動物病院 等			
（就職指導内容） 合同企業説明会（春・秋）、OBOGセミナー、インターンシップの活用			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
195 人	10 人	5.1%
（中途退学の主な理由） 身心不調、モチベーション低下、学力面、経済的事由		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラー、学校提携病院の活用、支援クラスの設置、学費相談アドバイザーの設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	動物&海洋科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼 間 I 部	1800 時間／単位	単位時間 90 時間	単位時間 1710 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		373 人	1 人	5 人	12 人	17 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の 4 月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点：S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点：A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点：B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点：C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
163 人 (100%)	2 人 (1.2%)	145 人 (89.0%)	16 人 (9.8%)
（主な就職、業界等） 動物園・水族館、ペットショップ、動物病院 等			
（就職指導内容） 合同企業説明会（春・秋）、OBOGセミナー、インターンシップの活用			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
355 人	11 人	3.1%
（中途退学の主な理由） 身心不調、モチベーション低下、学力面、経済的事由		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラー、学校提携病院の活用、支援クラスの設置、学費相談アドバイザーの設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	動物医療科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼 間 I 部	2400 時間／単位	単位時間 15 時間	単位時間 1245 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		46 人	0 人	4 人	20 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の 4 月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点：S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点：A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点：B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点：C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）本校ではチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
51 人 (100%)	1 人 (1.9%)	44 人 (86.3%)	6 人 (11.8%)
（主な就職、業界等） 動物病院、ペットショップ、動物保護施設 等			
（就職指導内容） 合同企業説明会（春・秋）、OBOGセミナー、インターンシップの活用			
（主な学修成果（資格・検定等）） 認定動物看護師 合格率 83.0%			
（備考）（任意記載事項） 2022 年 4 月募集停止。2 年のみ在籍			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
104 人	6 人	5.8%
（中途退学の主な理由） 身心不調、モチベーション低下、学力面、経済的事由		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラー、学校提携病院の活用、支援クラスの設置、学費相談アドバイザーの設置		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養課程	動物高度医療科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼 間 I 部	2700 時間／単位	単位時間 240 時間	単位時間 2460 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		126 人	2 人	3 人	17 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の 4 月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点：S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点：A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点：B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点：C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 動物病院、ペットサロン、ペットホテル、ペットショップ 等を予定			
（就職指導内容） 合同企業説明会（春・秋）、OBOG セミナー、インターンシップの活用			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 2020 年 4 月学科開設のため、卒業生なし 2023 年 3 月完成			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
87 人	1 人	1.1%
（中途退学の主な理由） 身心不調		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラー、学校提携病院の活用、支援クラスの設置、学費相談アドバイザーの設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	ペットビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼 間 Ⅱ 部	1800 時間／単位	単位時間 90 時間	単位時間 1710 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		88 人	0 人	3 人	7 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の 4 月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点：S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点：A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点：B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点：C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47 人 (100%)	0 人 (%)	37 人 (78.7%)	10 人 (21.3%)
（主な就職、業界等） ペットサロン、ドッグスクール、ペットショップ、動物病院 等			
（就職指導内容） 合同企業説明会（春・秋）、OBOG セミナー、インターンシップの活用			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
96 人	6 人	6.3%
（中途退学の主な理由） 身心不調、モチベーション低下、学力面、経済的事由		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラー、学校提携病院の活用、支援クラスの設置、学費相談アドバイザーの設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	動物&海洋科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼 間 Ⅱ 部	1800 時間／単位	単位時間 90 時間	単位時間 1710 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		348 人	0 人	4 人	12 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の 4 月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点：S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点：A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点：B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点：C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
151 人 (100%)	3 人 (2.0%)	121 人 (80.1%)	27 人 (17.9%)
（主な就職、業界等） 動物園・水族館、ペットショップ、動物病院 等			
（就職指導内容） 合同企業説明会（春・秋）、OBOG セミナー、インターンシップの活用			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
318 人	7 人	2.2%
（中途退学の主な理由） 身心不調、モチベーション低下、学力面、経済的事由		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラー、学校提携病院の活用、支援クラスの設置、学費相談アドバイザーの設置		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養課程	エコ・テクノロジー科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼 間 Ⅱ 部	3600 時間／単位	単位時間 360 時間	単位時間 3240 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		7 人	0 人	2 人	12 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の 4 月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位 4 分の 1 の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 100～90 点：S(4.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 89～80 点：A(3.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 79～70 点：B(2.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 69～60 点：C(1.0) 合格 出席時数 3 分の 2 以上、評価点数 59～0 点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 動物園・水族館、サファリパーク、テーマパーク等を予定			
（就職指導内容） 合同企業説明会（春・秋）、OBOG セミナー、インターンシップの活用			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 2022 年 4 月開設。1 年のみ在籍 2026 年 3 月完成予定			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） スクールカウンセラー、学校提携病院の活用、支援クラスの設置、学費相談アドバイザーの設置		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
エコ・テクノロジー科 (昼間Ⅱ部)	100,000 円	690,000 円	860,800 円	
動物高度医療科 (昼間Ⅰ部)	100,000 円	690,000 円	760,800 円	
動物&海洋科 (昼間Ⅰ部)	100,000 円	780,000 円	800,800 円	
動物&海洋科 (昼間Ⅱ部)	100,000 円	780,000 円	800,800 円	
ペットビジネス科 (昼間Ⅰ部)	100,000 円	780,000 円	690,800 円	
ペットビジネス科 (昼間Ⅱ部)	100,000 円	780,000 円	690,800 円	
動物医療科 (昼間Ⅰ部)		930,000 円	650,800 円	2022 年度より募集停止。 2 年のみ在籍。入学金設定なし
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/hyouka2.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
卒業生代表、保護者代表、近隣関係者とともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が行なった教育活動やその成果等に関する自己点検、自己評価の内容を通し、学校運営の改善に活かすことを方針としている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人堺市獣医師会	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日 (任期更新)	業界代表
学生保護者	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日 (任期更新)	保護者代表
卒業生	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日 (任期更新)	卒業生代表
大阪市民生委員児童委員協議 会会長	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日 (任期更新)	地域代表
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/pdf/2022/hyouka2.pdf
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.osaka-eco.ac.jp/school/public_info/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

※「－」は、個人情報へ配慮するための伏字であり、記載すべき合計値等には一切影響を与えないことに注意すること。

学校名	大阪 ECO 動物海洋専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		227 人	215 人	※ 235 人
内 訳	第Ⅰ区分	160 人	149 人	
	第Ⅱ区分	38 人	43 人	
	第Ⅲ区分	29 人	23 人	
家計急変による支援対象者（年間）				0 人
合計（年間）				235 人
(備考) ※ 後半期一名年度末適格認定にて半年分遡及取消になった者を含む （第Ⅰ区分一名 第Ⅱ区分一名 第Ⅲ区分一名）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0 人	0 人	-人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	-人	0 人	-人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	-人	-人	-人
「警告」の区分に連続して該当	0 人	-人	-人
計	-人	-人	24 人
(備考) 後半期複数の事由で廃止判定となっている者がいるため、実際の廃止者は16名である			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0 人	前半期	0 人	後半期	-人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0 人
3月以上の停学	0 人
年間計	0 人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	0人	29人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	-人	14人	24人
計	人	14人	53人

(備考)

後半期、複数の事由で警告判定となっている者がいるため、実際の警告者数は
42 名である

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。